

2018年4 - 6月期四半期別GDP速報（1次QE）公表に際しての  
茂木経済財政政策担当大臣談話

2018年8月10日（金）

1．本日公表した2018年4 - 6月期GDP速報では、実質成長率は、前期比プラス0.5%、年率に換算するとプラス1.9%と、マイナスであった前期からプラスに転じた。

名目成長率は、前期比プラス0.4%、年率に換算するとプラス1.7%となり、名目GDPは551.3兆円と過去最高を更新した。

個人消費が前期比プラスとなったことや、設備投資が7四半期連続の前期比プラスとなったことなどから、民需の増加に支えられた成長となっており、景気については、ゆるやかに回復していると認識している。

2．先行きについても、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、民需を中心とした景気回復が期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。

3．政府としては、「生産性革命」と「人づくり革命」を推進し、経済の好循環を更に確実なものとするため、「骨太方針2018」及び「未来投資戦略2018」に示された具体策を迅速かつ着実に実行していく。

「平成30年7月豪雨生活・生業再建 支援パッケージ」に基づき、被災者への生活支援及び被災地の復旧・復興を迅速に進める。

（以上）